



## イチゴのハウス被覆前に、ハダニ類、アブラムシ類、うどんこ病などの病害虫防除を徹底しましょう

例年、本圃への定植やその後の保温を開始するハウス被覆を始める前は、病害虫の防除を徹底する時期です。病害虫の発生を見逃して保温を開始すると、その後の栽培期間中を通して、病害虫被害に悩まされる恐れがでてきます。育苗に苦労されたことと思いますが、更にこれからは収穫期にかけて、本圃での栽培管理に最善の注意が必要になります。

病害虫発生予報10月号（病害虫防除所）によると、9月下旬現在、**ハダニ類**の寄生葉率（本年11.4%、平年3.5%）、発生地点率（本年60%、平年25%）と共に平年よりやや高く、向こう1か月の気温が平年より高い予想で、発生を助長する条件であることから、**10月の発生量はやや多い～多いと予測**しています。また、**アブラムシ類**は9月下旬現在、平年よりやや多い発生、うどんこ病は平年並の発生で、10月も**アブラムシ類はやや多く、うどんこ病は平年並で推移すると予測**しています。

イチゴ栽培では、ハダニ類やうどんこ病などが一度多発生すると難防除化する傾向にあり、特に保温開始後は施設内が増殖に適した環境になるため、この時期における病害虫の防除徹底に努めてください。

### ＜防除のポイント＞

- 1) 初発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾および株元などを丁寧に観察し、発生を認めたら早期に薬剤防除を実施します。この場合、**葉裏や下葉、株元等にも薬液がよくかかるよう丁寧に散布することが特に重要です。**
- 2) 古い下葉を除去した後や、多発した株または罹病葉や葉柄、果梗、果実などを除去してから薬剤散布を行います。
- 3) ミツバチや天敵を使用する場合は、薬剤の影響日数等に十分注意し、メーカーや関係機関の指導を受けてください。
- 4) ハダニ類やうどんこ病に対して特効的な各種薬剤は、抵抗性や耐性菌の出現しやすい傾向がありますので、散布後には必ず防除効果を確認してください。また、分類の異なる薬剤でローテーション散布し、その中に気門封鎖剤（粘着くん液剤など）を積極的に活用して、防除効果を安定させることが重要です。

表1 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤 (令和4年10月4日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
カネマイトフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 1回	○	20B
コロマイト水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	6
マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	20D
スターマイトフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	25A
グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	—	30
コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	10日	13
粘着くん液剤	100倍	収穫前日まで / —	1日	—

注1) 各表のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針（令和4年版）より抜粋しました。○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件により日数が前後することがあり、注意が必要です。

注2) 分類欄には、IRACまたはFRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 イチゴ アブラムシ類の主な防除薬剤 (令和4年10月4日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
ベストガード水溶剤	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	6日	4A
ウララDF	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	○	29
モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	23
トランスフォームフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	10日	4C

表3 イチゴ うどんこ病の主な防除薬剤 (令和4年10月4日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
トリフミン水和剤	3,000~5,000倍	収穫前日まで / 5回以内	○	3
アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	7
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	9
パンチョTF顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	○	3とU6
モレスタン水和剤	3,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	3日	M10
ジーファイン水和剤	750~1,000倍	収穫前日まで / —	○	M1とNC

※その他、被覆後には硫黄粒剤のくん煙処理が可能です。その際は専用の電気加熱式くん煙器を利用してください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。